

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に小学校6年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。この結果をもとに本校でも指導の在り方を振り返り、今後の改善を図ります。

1 教科結果から

平均正答率	国語	算数
本校	72	78
広島県	69	64
全国	67.7	63.4

2 教科における課題から

国語 概ねよくできていました。但し「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること」「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」には、課題が見られました。

そこで、自分で資料を読み取ったり、情報を使って表現したり、問題を解いたりする学習をしていきます。また、必要な情報を読み取り、事実と考えを区別して文章を書く学習をしていきます。読むことと書くことは繋がっているため、子供達同士でお互いの文章を推敲する活動も取り入れていきます。これらを授業や学力補充の時間、家庭学習などに取り入れていきます。

算数 概ねよくできていました。但し「変化と関係 速さ」には、課題が見られました。生活に結び付けて考えさせ、子供たちが自分の言葉で概念を理解できるようにしていきます。また、算数用語を意識しながら課題に取り組む学習をしていきます。例えば、言葉の意味や単位、表し方を確認したり、算数用語を使ってどのように考えたのか、自分の言葉で説明する活動を多く取り入れたりしていきます。正しい算数用語を使って自分から表現できるよさを子供自身が感じられるようにします。

3 生活と学習に関する調査から

良かった点としては、「算数・国語の勉強は大切だと思う」90%、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」80%、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」90%などがありました。

一方課題としては、「普段の携帯電話やスマートフォンでのSNSや動画視聴などの使用時間」が長いことが分かりました。

そこで、家庭との連携を図り、校内で取り組んでいる毎月第3水曜日のノーメディアデーを積極的に行ったり、家庭でのルールづくりを徹底したりする取組を継続していきます。読書を宿題にしたり、校内に設置している新聞を授業や家庭学習で活用させたりして、読書活動も充実させていきます。

学校として、授業改善をし、自ら課題を発見し、学ぼうとする意欲を育てていくとともに、家庭と連携を図り、さらなる学力の定着を図っていきます。